

# 平成19年度一般会計決算賛否討論

## 府中市議会市政会

平成19年度の我が国の経済は、エネルギー価格高騰などの影響を受け、景気の減速局面へと転換した年であった。

本市の歳入は、税源移譲等で市税が増収となる一方、所得譲与税の廃止などが行われたが、市債の借入れ抑制等で健全財政の維持を図るとともに、収入の確保に取り組んだ。

歳出では、小中学校等の耐震改修の推進など安心を生む事業を着実に進めるとともに、放課後子ども教室の実施、義務教育就学児への医療費助成、市民会館・中央図書館の複合施設「ルミエール府中」の開設やけやき並木整備計画の策定など優しさのある中で、人と文化が輝く魅

力あるまちづくりを推進する施策が行われた。

財政指標を見ると、経常収支比率は87%であることなど、健全財政が維持されている。これは、既存の事業の精査を行いながら、市民ニーズに適切に対応した施策を推進してきた野口市政の健全な財政への取組の成果であると高く評価する。

今後も、市の将来を見据え、スクラップ・アンド・ビルドを基本として、限られた財源を有効に活用しながら、健全財政の運営などを図ってほしい。市民ニーズに的確に答え、「安心 ゆとり 優しさに満ち、人と文化の輝く魅力あるまちづくり」が推進された本年度決算に賛成する。

## 反対討論

### 日本共産党府中市議会議員団

平成19年度、「成長なくして財政再建なし」を理念に、安倍内閣によって編成された国の予算は、成長に資するという名目で、大企業や大資産家を更に応援するものとなった。その一方で、定率減税の廃止や生活保護の削減に示されるように、国民への負担増と給付切り下げが推進され、深刻な格差と貧困は国民各層に広がっている。

本市の19年度決算において、増税や負担増、更に医療制度改革など、国民に一層の犠牲を押しつける政治から、市民の暮らし、福祉への願いに応える市政運営がされたのか、野口市政の2期目最後の年度を検証してみると、市税収入の大幅増の中で、

## 歳入

### 国有資産等所在市町村交付金

#### その内容は

委員 国有資産等所在市町村交付金について、その内容と対象となる施設はどのようなものか。また、その主なものは何か。

また、今後の動向を把握しているのか聞きたい。

資産税課長 同交付金については、国や都の官舎等の施設について、固定資産税の代替措置として交付されているものであり、安定した歳入が見込めるものと考えている。

### 市民会館の使用料

#### その内訳は

委員 平成19年12月にオープンした市民会館の使用料について、決算額は約2500万円とのことであるが、その内訳を聞きたい。

また、オープン以来、市民から寄せられた苦情等の内容やそれに対する改善策を聞きたい。

文化振興課長 コンベンションホール等の器具使用料を含んだ施設使用料が2140万1000円、駐車場収入が384万7000円である。

市民からの苦情で特に多いのが駐車場のスライドレール式の設備が使用しづらいといったものや収容台数が少ないといったものである。

収容台数に対する改善策としては、臨時駐車場を開設し、台数拡大に努めている。

# 決算特別委員会

(2・3ページ)

平成19年度一般会計歳入歳出決算の審査状況から、主なものをお知らせします。

## 歳出

### フィルムコミッション

#### 検討状況は

委員 観光振興により、府中の名前を全国に広めることができ、それによって、市民が府中への関心と誇りを高めることにつながるかと考える。

そこで、観光に関連して、映画、テレビドラマなどのロケーションを誘致・支援するフィルムコミッションの設立について検討状況を聞きたい。

経済観光課長 観光戦略の有効手段の一つと認識しており、周辺自治体等への情報収集などを行ってきた。現在、関係機関と連携し、フィルムコミッション運営協議会の設立に向け、調整を行っており、平成20年度中には、ロケーションを積極的に誘致・支援できるように準備を進めている。

### 給食の牛乳及び調味料補助

#### 全食材に占める割合は

委員 食材が値上がりしている中、安くおいしい学校給食を提供することは、大変なことと思う。本市では、児童生徒数に応じて牛乳と調味料に補助金を出しているが、全体の食材費に占める割合は、また、なぜ対象が牛乳と調味料だけなのか。

給食担当副主幹 平成19年度は、牛乳の補助は1本当たり11円、調味料は1人当たり給食費月額額の2・2%である。同年度決算での全食材費に占める割合は、小学校が6・1%、中学校が5・3%である。給食の食材費は、法により保護者負担となっているため、食材と直接結びつかない牛乳及び調味料に補助を行っている。

### コミュニティバス運行事業

#### 改善後の評価は

委員 コミュニティバス運行事業については、平成19年度に時間延長や新ルート開設等、一定の改善が図られたと思うが、改善後の評価は、また、早急に対応すべきことや市民からの強い要望等について、定期的な見直し時期を待たずに対応する考えは、

地域安全対策課長補佐 時間延長や押立町・朝日町ルートの新設については、好評をいただいている。地域安全対策課長 見直し等は、原則的にコミュニティバス検討協議会で検討されることとなるが、21年に開催される次回の同協議会では、定期的な見直し時期でない期間の対応についても議題としたい。

### テレビ広報「まると府中」

#### インターネット上での放映は

委員 本市では、テレビ広報「まると府中」をJ・C・O Mで放映しているが、1回当たりの制作費を知りたい。

また、インターネット上で広報番組や観光PR映像などを流す自治体が出てきていると聞く。今後、本市でも検討していくべきと思うが、市の考えは、

広報課長 制作費用は、1回当たり39万2千円である。なお、放映料に関しては無料となっている。インターネット上での広報



▲「まると府中」の撮影現場から

番組等の放映については、平成20年度よりリニューアルしたホームページで動画等の対応もできると、観光等のPRなども含めて、今後研究していきたい。